



Orange Breeze

出水市教育委員会だより

令和4年 5月20日 No.187

気風の刷新を図る

出水市教育委員会 大久保哲志

鹿児島県小中学校の教員は、南北600kmにも及ぶ県内を、原則として1校あたり6年勤務して異動している。昭和49年以降は1部の地区のみを異動するのではなく、県下全域を異動する全県的な異動となり、離島の学校にも必ず赴任することが義務付けられている。全国的に見ても、最も過酷といえる異動を、教員に強いてまで、守っていることは何か。

10年ほど前だったか、訪ねてきたアジアの留学生から尋ねられたことがある。「なぜ、鹿児島では、地方の小さな学校にも優秀な先生がいて、都市部と変わりのない教育がなされているのか。私の国では優秀な先生は都市部に集中して、地方に行くと先生すらいないこともある。」と。私は、鹿児島の全ての先生方が全県的な異動をしながら、県内各地で教育に尽力していることを説明した。留学生はさらに驚き質問を繰り返して帰っていった。全県的な人事異動のねらいは、この留学生の発言に集約されるかと思う。県内各地の教育水準の維持向上である。では、子どもたちのためだけに、このような大規模な人事異動が続けられてきたのかというと、もう一つ大事なねらいがある。気風の刷新を図ることである。

子どもの時に、消しゴムが古く丸くなると、カッターで切って四角い角を作って使っていた。同じ消しゴムなのに、角ができたことで細かいところがよく消せて、使いやすくなったと気分も上がったものだった。本来の性能が変わったわけではないのに、新しい切り口ができただけで、物事への対応に新たな変化をもたらす。その変化は、問題への新しいアプローチを生み、問題解決へつながるきっかけとなる。困難な問題や重大な取組に立ち向かうときに、局面を打開するきっかけを探すことはないだろうか。そのきっかけを得るために、私たちは絶えず試行錯誤する。しかし個人のレベルでは変化も規模が小さくなりがちだ。他と関わってこそ、人は大きく変化することができる。

だからこそその定期人事異動だと私は考えたい。組織というものは、同じメンバーで長くやった方が安定し良い面も多い。しかしながら、安定は固定化を生み、局面を打開する力を発揮できない場合もある。学校が常に変化し続け、新たな挑戦を図るには、古き良き伝統を守りつつも、一方で硬直化した慣習を打ち破り新しいものを創り出す必要がある。気風の刷新が求められる所以である。

令和4年度の定期人事異動で、出水市の小中学校には、校長8名、教頭8名、新規採用教員20名を含む合計118名の転入の先生方を迎え、各学校ともに新たな体制でスタートした。予想外の異動であった方もおられるかもしれないが、それならなおのこと新しい風を感じておられるのではないか。転入した教職員は、単に新しい学校に慣れるのではなく、新鮮な目で着任した学校に新たな風を吹き込んでもらいたい。一方、迎えた教職員も、新たに示される多様な視点や考え方を柔軟に受け止め、変えてはならないものは何か、変えなければならぬものは何か、常に考えてもらいたい。

全ての教職員には、「1人1人の子どもには限りない可能性がある」「預かっている子どもたちに必ず力をつける」という強い思いを持って児童生徒の前に立ち、一人一人が出水市職員として、「我がまち“出水”の教育」に責任を持って取り組んでいただくことを期待する。

宣誓式 新任管理職代表あいさつ 上場小学校 校長 山本 裕三

私たち教職員は職務上、県内各地を異動することになります。私も今回で八校目の勤務となりました。若いころ、着任した際、ある校長先生が次のような言葉をかけてくださったことがあります。「出会いには必然だと思ふ。先生と出会えたことには意味があると思ふ。だから、一緒に頑張ろう」一気にその校長先生との距離が縮まった感覚を覚えながらも、正直、あまりびんと異ななかったことも覚えています。その後、幾度となく異動を繰り返す中で、「出会いは必然である」という考え方は異動する際の私の心構えになっているような気がしています。

私の勤務校上場小は開拓地であり、その開拓には、私のふるさと与論島の祖先が関わっているとの話を聞きました。私が上場に来た意味を早くも一つ確認できた気がしています。

校長として、たった数年しか勤務できない事実がありますが、微力ながらも、自分にできることを、自分のために上場のために頑張っていきたいと思っています。そして、この地を離れる時に「やっぱりここにきてよかった」「あの人との出会いがあつてよかった」と思えれば幸いです。



宣誓式 初任者代表あいさつ 出水商業高等学校 西久保 賢吾

5年以上前になりますが、信用金庫の営業担当として仕事をしていた時、出水市の若手経営者のみなさんから社会人として多くのお話を伺う機会がありました。自治会の方々非常に親切にいただきました。地域のあたたかさを感じ、こうした地域で仕事がしたいと思っておりました。

そんな私が今思うことは、これまで西久保という人間を育て、支え、励ましてくださった方々への感謝の気持ちです。そうした方々の思いを裏切らないように。「うんな、西久保はやっせんあねえ」と言われることがないように、教員としての自覚をもって頑張りたいと思います。

信用金庫の職員から教員になった今ですが、わたしの人生におけるコンセプトは変わりません。「地域のために、人と深くかかわって仕事がしたい」大学生の時に、そう考え地元信用金庫へ就職しました。しかし、勤務する中で「お金や損得だけでなくもっと深く、時間をかけて地域の人と関わりたい」と感じ、教員を志し、今ここに至ります。今はまだ何もできませんが、信念をもって未来ある生徒や地域と関わり、日々を積み重ねることで、学校を通して地域に貢献できるような教員になりたいと決意しています。



5月 行事予定

日 曜	行事等(予定)
1 日	
2 月	2校連絡会(学)
3 火	憲法記念日
4 水	みどりの日
5 木	こどもの日
6 金	5校連絡会(学)
7 土	
8 日	
9 月	通学路合同点検(西出水小・高尾野小・下水流小)(学) 市PTA連絡協議会理事会(生)
10 火	"オール出水"教科等部会(学)
11 水	第1回生徒指導主任等研修会(学) いじめ防止等ネットワーク会議(学)
12 木	中体連地区陸上大会
13 金	中体連地区陸上大会予備日 第2土曜日(土曜授業)
14 土	SDGs講演会 春の星空観望会(青)
15 日	春の星空観望会(予備日)(青)
16 月	
17 火	生活学校開講式(生)
18 水	出水人生大学開講式(生)
19 木	高尾野鶴亀大学開講式(生) 第1回特別支援連携協議会/第1回教育支援委員会(学)
20 金	野田高齢者大学開講式(生)
21 土	
22 日	
23 月	
24 火	第1回保幼小連携協議会(学) 第1回養護教諭等研修会・保健主任等合同研修会(学)
25 水	市PTA連絡協議会総会(生)
26 木	幼稚園教諭等研修会(全員・園長含む)(学)
27 金	第1回出水ふるさと学寮事前説明会(生)
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	5校集合学習①(学) いじめ問題等対応対策専門委員会(学)
主管 課等	【総】教育総務課/【学】学校教育課/【生】生涯学習課 【青】青年の家/【給】給食センター/【商】出水商業

令和4年度新任教職員「教師としての第一歩」

今年度、出水市に赴任した初任者が書いた文章の一部抜粋です。多くの経験を積み、立派な教師になってください。

学校名・教員名	教師としての第一歩
鮫島 佳奈 (出水小)	どんなときも子どもと共に考え共に喜び共に成長する教師になります。精一杯頑張ります。
東 彩音 (西出水小)	子どもの心に寄り添うことのできる教師を目指してがんばります。よろしくお願いします。
福永 玲士 (西出水小)	児童一人一人と真摯に向き合い、常に自覚と責任をもって学び続けていきます。
山口 真里奈 (東出水小)	子どもと全力で向き合い、笑顔いっぱいの学級にするため、学び続けながら頑張ります。
古川 由佳 (米ノ津小)	子どもや保護者、地域の方々に信頼される教師を目指し、学び続ける姿勢で取り組みます。
前田 愛美 (米ノ津東小)	子どもとのコミュニケーションを大切にし、理解することのできる教師を目指します。
新納 友和 (切通小)	「出水兵児修養掟」の名に恥じぬよう、たくましい子どもたちの育成に励んでいきます。
有村 歩美 (上場小)	笑顔を決やさず、子どもたち一人一人と真剣に向き合い、心に寄り添う養護教諭を目指します。
田中 美帆 (高尾野小)	教職員としての自覚と責任を持ち、子どもたちのために学び続ける教師を目指します。
石田 佳奈 (下水流小)	子どもたちが「学校楽しい」と心から思えるように、自分自身も失敗を恐れず楽しみます。
鬼塚 亮 (江内小)	子どもたちの成長の為に全力で職務に励み、保護者、地域の方々に信頼されるよう努力します。
富永 彩乃 (野田小)	学び続ける姿勢を持ち続け、指導力を身に付け、信頼される教師を目指します。
神谷 純玲 (鶴荘学園)	子どもたちに親身になって寄り添うことのできる教師になることを目指します。
東中川 壮 (出水中)	先輩方に多くのことを学ばせていただき、信用・信頼される教員を目指してまいります。
瀬戸口 唯 (出水中)	出水中の生徒は心が優しく、いつも気持ちの良い挨拶をしてくれます。私も頑張ります。
山口 美香 (出水中)	常に学ぶ姿勢を大切にし、生徒と真摯に向き合い、信頼される養護教諭を目指します。
山口 健人 (米ノ津中)	常に成長していく子どもたちとともに私自身も成長、進化できるように学び続けます。
今村 健太 (米ノ津中)	生徒から信頼される教員になりたいと思います。まずは、経験を情熱で凌駕していきたいです。
田畑 祥 (大川内中)	出水の子どもたちをはじめ、みなさんから信頼され、地域に貢献できる教師を目指します。
別府 翔太 (高尾野中)	「謙虚」な姿勢。「感謝」の気持ちを忘れずに色々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

今回は、今年度新たに出水市教育委員会学校教育課に配属された永野指導主事の随想を掲載します。

偶然を必然に変えることができる人に

4月、新しい職場で、新しい仲間と、新しい仕事をするという生活がスタートしました。転勤族である鹿児島島の教員にとって職場が変わることや仲間が変わること、分掌が変わることは、当たり前なことではありますが、やっぱり新しいスタートにはいくつになっても、ワクワクしたり、ウキウキしたりしてしまうものです。

新生活が始まる時には、「いいスタートを切れた!」と思えることもたくさんありますが、「どうして、この仕事が私に?」と感じてしまったこと、きっと誰でも一度は経験したことがあるのではないのでしょうか。どんな仕事をさせられるかは自分で決めることはできません。どんな同僚、どんな上司、どんな子どもたちと出会うのかも自分で決めることはできません。任される仕事、出会う人々、これらは全て偶然です。今の自分がどのようにして出来上がったのかを振り返ってみると、これまでに与えられた仕事や職場、そして、仲間や子どもたちとの出会いという偶然によって、いろいろなことを学び、そして、成長することができたということに気付きました。つまり、これまで私に与えられた経験は「偶然」によるものではあったものの、それらの経験は、私を成長させるための「必然」であったのです。

ドイツの哲学者、ニーチェが「偶然という運命に押し潰されることなく、自分の運命の上に立ちましよう。」という言葉を残しています。この言葉のように、自分の力で「偶然を必然に変えることができる人」を目標に、これからの出水での「偶然」の出会いを大切にしていきたいと思っています。 学校教育課 永野 優希